

# 「学ぶ土台づくり」圏域別親の学び研修会

宮城県では、幼児期を生涯にわたる人格形成の基礎を築く時期を「学ぶ土台づくり」の時期として捉え、「親子間の愛着形成の促進」、「基本的生活習慣の確立」、「豊かな体験活動による学びの促進」、「幼児教育の充実のための環境づくり」の4つの目標を掲げています。これらの目標を達成するため、家庭、教育現場、行政がそれぞれの役割を的確に果たしつつ、連携・協力を図り事業を展開していきます。

大河原教育事務所管内でも、「学ぶ土台づくり」圏域別親の学び研修会を大河原町金ヶ瀬カトリック保育園 白石市南保育園で実施しました。大河原町では「親の学びのプログラム」を白石市では「講演会」を実施しました。これからも、参加者の皆さんが安心して子育てをできる環境づくりを目指していきます。

☆大河原町 金ヶ瀬カトリック保育園

令和元年5月30日（木）

参加者：52名



宮城県地域活動「母親クラブ」連絡協議会

会長 佐々木 とし子 氏



グループワーク 「親の学びのプログラム」

○普段、他の人の意見を聞くことがないので、意見を交換することで学びにもなり、自分だけが思っていたのではないのだと実感でき安心しました。みんなも子育てについて悩んだり、苦労していると共感できました。

○仕事をしながらの子育ては大変だと1人で頑張っている気になっていたが、周りの協力があるからこそだと改めて感じた。子どもにもっと愛情が伝わるようにしていこうと思った。

○周囲の人の意見を聞いたり、自分の意見に同意してもらったり、また改めて頑張ろうと思いました。同時に、今まで以上に子どもたちをぎゅーっとしたいと思いました。

○あらためて子育てとは何か？自分の子育ては大丈夫なのかといろいろ考えるきっかけになりました。様々な考えも知ることができて、とても勉強になりました。

○子育てと仕事の両立でいろんな悩みもあったけれど、皆さんも一緒なんだな、一人じゃないんだなと思えてすごく心強かったです。  
(参加者アンケートより)

☆白石市 白石市南保育園

令和元年6月27日（木） 参加者：93名



宮城県立角田支援学校

特別支援コーディネーター 松原 淳子 氏

テーマ

「幼児と発達

～子供の理解と対応～」

○自分の遊ぶ感覚と子どもの学ぶ感覚は思っていたよりも差があるんだと思いました。ささいなことも成長に大きく影響すると知ったので、私たちが意識的にいろいろなことを経験させてあげたいなと思いました。

○我が家でも親の都合で物事を進めがちですが、子どもは子どもで思っていること、やりたいことがあることを松原先生から学ばせていただきました。さっそく今日から実践していきたいと思います。本日はありがとうございました。

○具体的にこの遊びが頭と体を育てるなどの事例がたくさんあったので、分かりやすかったです。子育てに不安なこともありましたが、自分だけじゃないとわかりホッとしました。1歳の子どもがいますが、年齢別の研修会があると嬉しいです。

○感覚統合と発達の関係性は以前も聞いたことがありますが、我が子たちの気になる行動を思い起こすと、原因はそこにあるのかもしれないと再認識しました。子どもと大人の関わりや基本的な生活、遊び、身体を正しく動かすことが心の発達、知的発達、社会性を身につけることにもつながるのだと思いました。

○階段を踏みながら成長していくということがよく分かりました。必要以上にすることは、子どもの成長発達に影響することが分かったので、見守ることも大切なんだということをしっかり理解できた。

○小さいときに母に手遊びをたくさんしてもらいました。おかげで手・指先がとても器用になることができました。我が子とも手遊びをしていきたいと思いました。声かけの仕方を年齢で変えてみることもしてみたいと思いました。  
(参加者アンケートより)